

国語 3年生 詩の授業実践 「言の森」

【生成 AI を推敲のヒントとして使いました】

国語の『言の森』という単元のパフォーマンス課題として、自分の言語生活と詩を結び付けるという課題を行いました。前時に詩の内容を読解したのち、自分の経験と結び付ける。すらすら書ける人もいれば、書きたいことがあるけれど、どう書いていいのかわからない人もいました。そこで、今回は一度自分の意見を書いてから生成 AI に推敲のヒントをもらい、ヒントをもとに文章を整えるという作業を行いました。最後に、完成した文章を交流し、聞き手からの視点で意見をもらい、自分の考えを深めることができました。

指示のスライド

☆「自分の思いや考えが伝わる言語活動に
ついでにAIを使おう」

作業①
自分の考えを二百字で書け。
詩に関わること
(表現技法の効果・印象に
残ったフレーズなど)
自分のこと
これからのこと

作業②
生成 AI の助言をもとに自分で直す

作業③
自分で直した文章を交流

**AIが「答え」じゃない
ヒントをもらう道具**

↓の文を打ち込んでAIに助言をもらう。決して文を作ってもらわない。

この文章についてアドバイスをください。
・良いところを2つ
・分かりにくいところを1つ
・もっとよくなるための具体的なアドバイスを1つ
※文章は書き直さず、ヒントだけください

よくなるのはAIではない「自分」です。

交流：ミニスピーチ
自分の文章を30秒で伝える

時間が短いので・・・
・「一番伝えたいところだけ読んでOK！」
・「全部読まなくてもOK！」ただし、30秒はしっかり話してね！

聞く側の役割
1つだけ返す
「いいと思った言葉」or「心に残ったところ」

成果物

「言の森」の授業で書いた詩と、それを推敲するためのメモや感想が書かれた紙が写っています。左側の紙には、縦書きで書かれた詩の全文と、その感想や推敲の過程が記されています。右側の紙には、生成AIからのアドバイスを引用し、それをどう活かしたかについてのメモが書かれています。また、AIからのアドバイスと生徒の感想を結びつけるように、大きな青い矢印が描かれています。

